

6 地域・交流

区	地域コミュニティ協議会	活動名
東	新潟市木戸地域コミュニティ協議会	新潟市コミュニティ交流会
南	新飯田コミュニティ協議会	コミュニティカレンダー発行事業
南	大通コミュニティ協議会	大通秋まつり・オータムコンサート
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	坂井輪中学校区地域自治会役員等研修会
西	小針小学校区コミュニティ協議会	こばりっこ新春かくし芸大会・小針七夕まつり
西	黒埼南ふれあい協議会	黒埼南まちづくりセンターオアシス事業

東区 新潟市木戸地域コミュニティ協議会

活動名：新潟市コミュニティ交流会

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

・コミュニティ協議会(以下コミ協という。)発足時、コミ協の活動のあり方や活動内容についての知識が少なかったことから、より多くの情報を得てスキルアップする目的で区を越えての交流会を西蒲区の巻まちづくり協議会と行った。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

・1年に1回、巻地区まちづくり協議会との交流会を行ってきたが、できるだけ地域も異なる多くの団体との意見交換がより意義あると考え、平成22年度交流会には西区、南区のコミ協にも参加を呼び掛けた。究極的には全市8区のコミ協が参加する交流会を目標とした。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

・巻地区まちづくり協議会(西蒲区)、坂井輪中学校区まちづくり協議会(西区)、白根コミ協(南区)と当コミ協が幹事団体となり、各自区内のコミ協及び他区のコミ協に参加を呼び掛けた。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

・平成27年度には、6区16団体のコミ協と各区の行政職員を合わせ90人以上の交流会が開催できた。10の分科会に分かれ互いに意見を交わし有意義であったと考える。
・平成28年度は、全市8区のコミ協が参加予定。(100数十名の参加が予定される)

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

・参加人数が多くなることによって、一堂に会することが出来る広間や分科会を行うための多くの部屋数が必要となり、場所・会場に限られてくる。
・会場までの交通手段の検討。
・総まとめ役団体の業務負荷が大きい。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

・参加者の意見等を聞きながら、コミ協の相互レベルアップと活性化を図って行きたい。



全 体 会 議



分 科 会 会 議

南区 新飯田コミュニティ協議会

活動名：コミュニティカレンダー発行事業

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域事業や小学校、中学校等の年間行事の予定がわからなく参加人数が増えない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

年間カレンダーに全ての行事を載せ全戸配布する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

地域の各団体、学校関係等から情報を集め、まとめる。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

保育園、小学校、中学校、各コーディネーター、公民館、行政

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

年間の地域予定がわかるため、参加人数が増えた。コミュニティ活動に関心が増えた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

小学生から取材の体験をしてもらいながら、事業を写真で見てわかるカレンダーづくりを心掛けた。カレンダーは次年度を作るという事で予定が立たない事業も多く載せる事が出来ないものもある。学校関係は、コーディネーターの協力が不可欠である。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？



南区 大通コミュニティ協議会

活動名：大通秋まつり・オータムコンサート

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

大通地区は、自治会ごとの年齢層に大きな隔たりがあり、なかなか一体感を生み出せない事です。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

「楽しめる場所」「地域住民が交流できる場所」を提供することにより、年齢性別世代を超え、大通住民の交流を図る事です。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

広く一般の方から出展作品を募集。要望の多い、野菜果物の直販所・バザーなどを実施。体験教室の開催。中学生のボランティアを募集し、地域に愛着を持ってもらい「地域の行事」として定着させる。ワンコインで、コンサートを楽しんでもらう。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

企画・運営・準備などで、多くの住民が携わり、当日は多くの住民を巻き込む良い機会となりました。「地域の行事」として定着しつつあります。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

小さい子供から、小学生・中学生・大人まで、楽しめる企画を考える事です。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：坂井輪中学校区地域自治会役員等研修会

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当まちづくり協議会傘下の加入単位自治会は現在 45 団体であるが、その内 1 年交代の新人会長や輪番制の会長 2 年交代自治会が約半数で、その為か、地域の安心安全対策や、環境対策、高齢者支援等の課題に対する自治会の果たす役割とその活動についての意識・理解度が

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域活動の中心的役割を担う自治会のリーダーなどが、組織の活性化と、住みよい地域づくりのための諸課題について研修を行うことで、まちづくり協議会組織の理解を進めるほか、自治会が抱える諸問題についての課題及び解決方法について意見交換を行って意識の醸成を

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 各自治会の組織活動等実態把握調査及びまとめ
2. 自治会役員研修会の開催
3. 地域課題についての情報意見交換会

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西区役所 地域課

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

各自治会の組織体制や活動状況を把握し分析して、他自治会への情報提供ができること及び、新規就任自治会長のまちづくり協議会への理解を図るとともに、地域の問題点について行政からの見解と指導を得て、今後の解決策を模索できる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

各自治会の組織体制や活動状況を把握し分析して、他自治会への情報提供ができること及び、新規就任自治会長のまちづくり協議会への理解を図るとともに、地域の問題点について行政からの見解と指導を得て、今後の解決策を模索できる。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

対象範囲を各自治会役員まで拡大し、時宜に合った研修会を行っていく。また、自治会長等役員研修会で得られた結果を参考にし、定期的実施する三者合同研修会及び情報交換会に反映させたいと思います。



西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：こぼりっこ新春かくし芸大会・小針七夕まつり

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域のコードモト住民の交流を図り、地域で子供を育て守る支援体制を構築する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

子供が安心して住める、街づくりを作る目的の1つとして、交流会を開催する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

こぼりっこ新春かくし芸大会及びこぼり七夕まつりの開催

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

地域住民

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

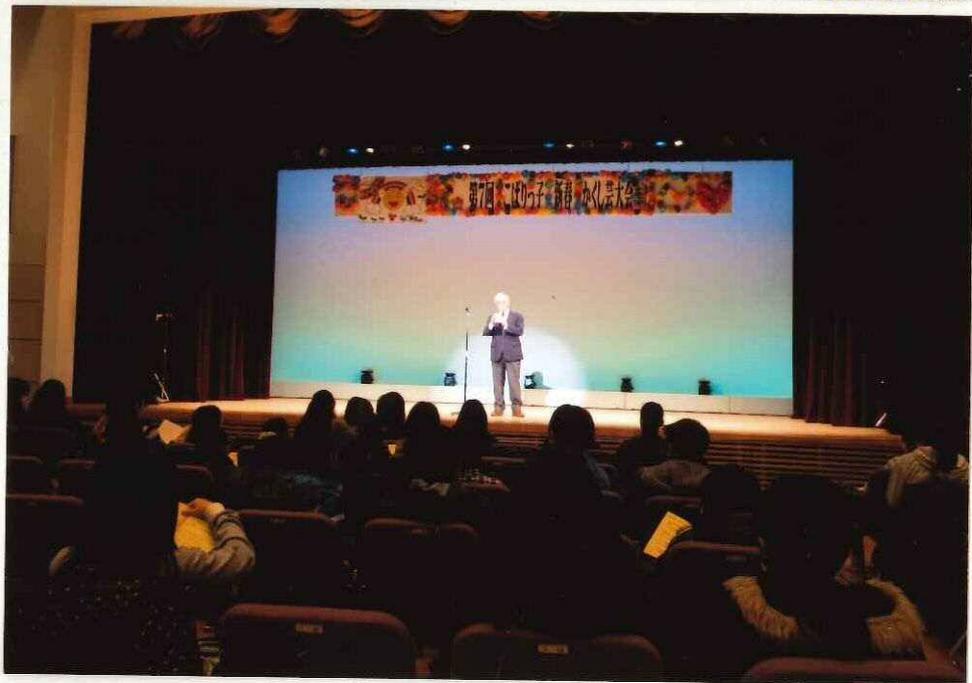
小学生、保護者、地域住民の連携が向上した。
(登下校時の挨拶の実践と地域活動の参加が多くなった)

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

青少年健全育成部会が担当したが、出演者、協力者の確保に苦労している。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

2事業は毎年開催するが、今後は新規の地域おこしを企画し活動を活性化する。



未来の子どもたちを支援する

青少年健全育成部会長 川瀬

● 七夕まつり

平成二七年七月四日、小針青山公民館にお
「地域ふれあいサロン」と共催で「七夕まつり」
開催し、参加者は四〇人でした。

● 小針納涼大会

平成二七年八月二三日、小針小学校グラ
ンにおいて「小針納涼大会」のステージ部門を
拍ます。子ども達や地域の皆様に出演してい
き、納涼大会を盛り上げます。また、仮装・浴
ンテストも開催し、祭りに花を添えます。

● こばりっ子新春かくし芸大会

平成二八年一月三〇日、西新潟市民会館に
て八回目を迎える地域・学校・子供達と地域
をつなぐ発表の場として、「こばりっ子新春
し芸大会」を開催します。



第8回 こばりっ子新春隠し芸大会

平成 28年 1月 30日 (土)



おや



い



西区 黒埼南ふれあい協議会

活動名：黒埼南まちづくりセンターオアシス事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当地域は米と枝豆が主な農産物で、大家族単位で営む農村集落でしたが時代の変化と共に高齢化と晩婚化が進み、若者の担い手不足が深刻化してきたので農業を継ぐ若者達に交流の場を提供し、以前の賑わいが少しでも戻って来ることを期待し地域の絆づくりと活性化の手助けになればと願い企画しました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

米価の価格低迷と減反比率のアップ等で農業所得が目減りする中で安心・安全な農産物を消費者に届けている努力と新潟市の銘産品に指定されている黒鳥産枝豆の美味しさを多くの方に知って頂く事を目標に枝豆の作付けから収穫までを体験し農業の面白さや奥深さを体感して頂くと共に大根やサツマイモの育成・収穫の場を提供する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

ご近所・お茶の間広場 ②枝豆の里で作る幻の肴豆作付け体験 ③ 夏休み縁日（スライム作り・ソーメン流し） ⑤ 黒鳥ふれあい農業まつり ⑥ サツマイモダイコンの収穫体験等

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

・黒鳥自治会・黒埼地区公民館・黒埼南小学校・黒埼商工会・JA越後中央農協

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

枝豆の作付け体験やサツマイモ堀体験など農作業一部を都市部消費者が体験した事により当地域の安心安全で美味しい農産物を理解してもらった事や活動によって今まで話したこともなかった多くの老若男女の人達が互いに交流することができましたので地域の賑わいが少しは深まったと感じています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

屋外作業を原則とする農業は天候に左右され点多々あるので日々の気象情報を確認すると共に、晴天高温の場合は熱中症を心配し、雨の場合の対策などが大変でしたが大盛況で良かった。また、継続して実施している農業まつりは多くの方が来場して混雑しましたが、黒埼南部公民館やまちづくりセンターの周知に貢献できたと思っている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域活性化に貢献していると事業と思っているが農産物の販路拡大など今後も活動を継続していくには多くの課題があるのでスタッフ一同は新たな知恵と工夫を施し次回に結びつけて行きたいと思っています。



